



2023年4月28日

各 位

東京都新宿区揚場町2番1号
大興電子通信株式会社
代表取締役社長 松山 晃一郎
(コード番号8023 東証スタンダード市場)
問合せ先
執行役員コーポレート本部長 間渕 剛志
(TEL03-3266-8111)

通期業績予想の修正に関するお知らせ

最近の業績動向を踏まえ、2023年2月8日に公表しました2023年3月期の通期業績予想を下記の通り修正することといたしましたのでお知らせいたします。

記

1. 業績予想の修正について

2023年3月期通期連結業績予想数値の修正 (2022年4月1日～2023年3月31日)

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に 帰属する 当期純利益	1株当たり 当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想(A)	37,000	1,580	1,600	780	58.63
今回発表予想(B)	37,615	1,872	1,920	996	75.03
増減額(B-A)	615	292	320	216	
増減率(%)	1.7	18.5	20.0	27.7	
(ご参考)前期実績 (2022年3月期)	35,472	1,560	1,607	1,233	90.38

2. 修正の理由

2023年2月8日に公表いたしました業績予想の修正では、当社ならびに当社連結子会社の資産売却に伴う特別損失の計上により、親会社株主に帰属する当期純利益のみを下方修正いたしました。終息が視野に入りつつある新型コロナウイルス感染症後を見据えた堅調な受注を背景に、当初の業績予想を超える増収増益となる見込みであり、再度業績予想を修正するものです。

売上高全体では概ね計画通りとなりましたが、情報通信機器部門が未達となった一方、ソリューションサービス部門ではグループ会社を含め全体的に堅調であったことから増収となる見込みです。利益面では、比較的収益性が高いソリューションサービス部門における売上構成の増加に加え、ソフトウェアサービスでは原価削減の取組で粗利益率が改善したこと、ネットワーク工事では大型案件を中心に付加価値の高い上流工程へ注力したことにより売上総利益が増加する見込みです。また、人的資本投資の一環として社員の処遇改善を実施いたしました。その他の経費をコントロールしたことで販管費の総額が計画比で減少したため、営業利益ならびに経常利益が増加する見込みとなりました。さらに、税金関連費用が想定を下回ったことにより親会社株主に帰属する当期純利益につきましても予想を上回る見込みです。

※上記の業績予想は、本資料の発表時現在において入手可能な情報に基づき算出したものであり、実際の業績は様々な不確定要因により、これらの予想数値と異なる場合があります。

以上